

# 市報 やまぐち

<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>  
<http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>  
koho@city.yamaguchi.lg.jp



平成23年度当初予算 P.2



このたびの東北地方太平洋沖地震により、犠牲となられた皆様に謹んでお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された多くの皆様、ご家族をはじめ関係の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。本市といたしましても、救援・支援活動に力を尽くしてまいりますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

山口市長 渡辺純忠

※東北地方太平洋沖地震に関する支援等については、9ページをご覧ください

豊かな山口湾の自然の恵み  
「紅きらら」天日干し作業

2011 4.1  
April  
No.132

# 平成23年度当初予算

## 平成23年度当初予算の特徴

平成23年度の予算編成においては、これまで本市が重点的に取り組んできた「協働のまちづくり」と「広域県央中核都市の創造」を両輪に据え、新年度を「地域主権の実現に向けた本市の自立と新たな価値の創造元年」と位置づけ、市総合計画に基づいた本市のまちづくりを着実に進めるとともに、目前の課題への迅速な対応と、中長期的な課題および市長マニフェストについても積極的に取り組むことを意識し、将来の山口市を「かたち」つくる積極型予算としています。

### 「スピード感」「成果向上」と「財政健全化」

「市総合計画」「市協働のまちづくり条例」をはじめとする各種計画等をスピード感を持って実行に移すために「地域内分権の推進」「本市の成長戦略」「国土保全、日常的な生活機能の担保」といった施策横断的な課題に積極的に取り組むべく予算編成を行いました。

また、財政面においては、国の「財政運営戦略」および「地方財政計画」を踏まえ、特別職の報酬カットをはじめ、職員の見直しや時外勤務の縮減など人件費の抑制、事務事業の見直しに取り組み、また、有利な財源を活用することで、平成22年度当初予算に続き、財源不足を補うための基金（財政調整基金）を取り崩さない、歳入規模

を基本とした予算編成を行いました。

### 足元の景気対策と成長に向けた基盤づくり

世界同時不況以降、景気低迷と厳しい雇用環境が続いている中で、政府の「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」と、新年度において本格化する「新成長戦略」に符合するかたちで、本市においても、平成22年度12月補正予算および3月補正予算、並びに平成23年度当初予算の3点セットで、切れ目のない景気対策を意識した予算編成を行いました。

また、景気対策と並行して、中長期的な視点に立ち、市民生活を下支えする地域経済の構築に向けて、経済産業基盤を整備すること、地域資源を経済

### ■問い合わせ

市財政課 (☎083・934・2750)  
市企画経営課 (☎083・934・2747)

循環に組み込む仕組みづくり等を進めるなどの本市独自の「成長戦略」、都市としての活力を維持し、誰もが、それぞれのライフステージで、住みよさを実感できる「未来の都市デザイン」を描き、市民と共有し、実践に移していくことを意識しています。

### 合併効果を最大限に発揮

本市は、2度の合併を経て、面積は県内一となり、農地面積、森林面積についても県内一となりました。

臨海地域から中山間地域まで、異なる気候、地勢から形成される各地域から生み出される地域資源は、まちづくりにおける「強み」であり、本市の「成長エンジン」としてフルに活用できる仕組みを早急に構築していくことに意を配しました。

市民生活の安心・安全と、豊かなの実現、さらには、経済活動の受け皿となる広域経済・交流圏の形成に向けて、合併特例債等を有効に活用して、都市基盤、経済産業基盤の整備を進めていきます。なお、平成23年度は合併特例債を49億170万円借り入れることにしています。

# 予算の概要

## 一般会計の概況と特徴

一般会計の予算総額は平成22年度に比べ40億8,000万円、5.7%増（繰上償還を除くと実質5.6%増）となりました。

### ◆一般会計の歳入

市税は、景気低迷による個人市民税の減収、都市計画税の税率の見直し等により、前年度に比べ約5億2,000万円、1.9%の減、市債は、大型建設事業に伴う市債発行額の増により約19億8,000万円、22.6%の増を見込んでいます。

### ◆一般会計歳出

義務的経費である人件費は、給与の減額や退職者数の減による退職手当の減額により前年度に比べ約5億3,000万円、3.7%減、公債費は平成19年度からの補償金免除繰上償還の実施により約1億7,000万円、1.6%減、扶助費は障害福祉サービス給付事業費、生活保護費などの増により約12億5,000万円、10.0%の大幅な増となりました。

投資的経費は、新山口駅ターミナルパーク整備事業や地域交流センター建設事業などの大型建設事業により約22億2,000万円、23.1%増を確保しました。

### ◆特別会計

老人保健医療特別会計を廃止し、13の特別会計に予算を編成しました。各特別会計を合わせた予算額は、前年度に比べ約8億2,000万円、2.3%の増となりました。

#### ■特別会計の予算内訳

区分	当初予算額	対前年伸率
国民健康保険	186億9,716万円	7.1%
後期高齢者医療	23億4,207万円	▲4.7%
老人保健医療	—	皆減
介護保険	142億5,200万円	3.8%
介護サービス事業	5,745万円	▲44.3%
土地取得事業	8,114万円	▲0.8%
駐車場事業	3,837万円	1.4%
小郡駅前第三土地区画整理事業	2億8,866万円	▲55.0%
簡易水道事業	2億3,554万円	5.4%
農業集落排水事業	4億8,807万円	▲47.6%
漁業集落排水事業	1,645万円	0.1%
地域下水道事業	682万円	0.4%
国民宿舎	3,892万円	7.4%
特別林野	987万円	▲16.2%
合計	365億5,252万円	2.3%

#### 特別会計

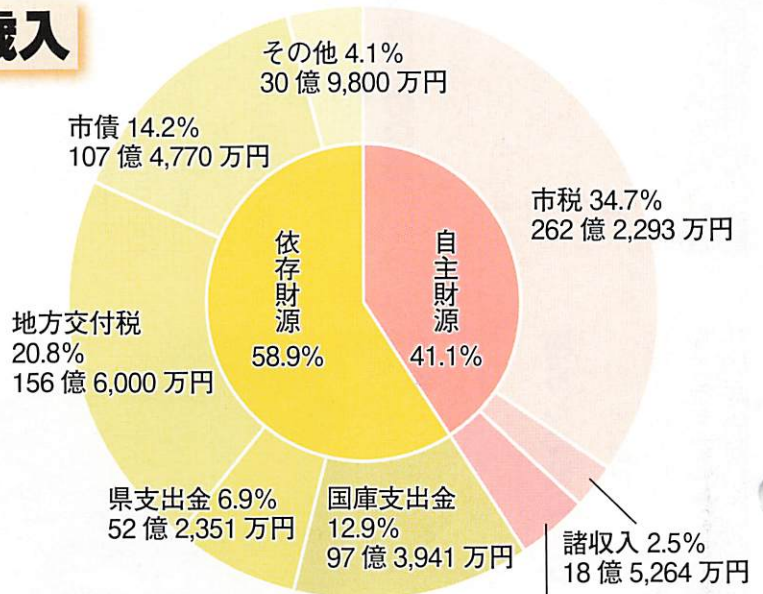
特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のあるときに設けることができる会計。原則として、独立採算で運営する。

# 一般会計予算総額 754億8,000万円

## 市民1人当たり 38万4,590円

※平成23年2月末現在の推計人口196,261人で算定

## 歳入

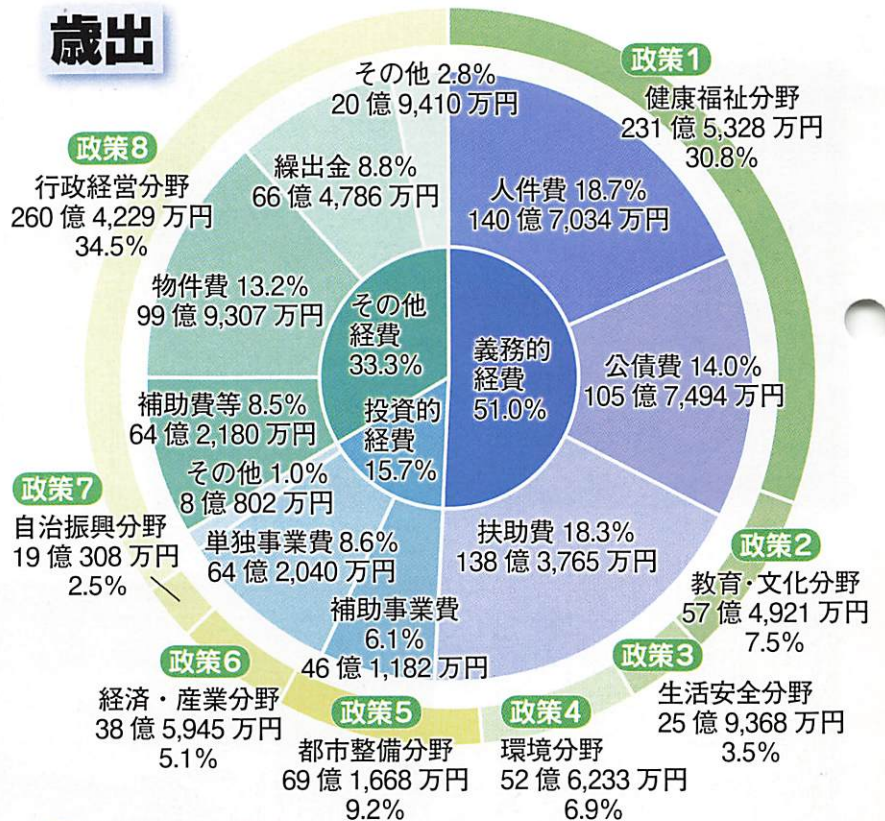


#### ■歳入のグラフ用語

**自主財源** 市が自ら調達できる収入  
**依存財源** 国や県からの交付金などの収入

分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金  
 3.9% 29億3,581万円

## 歳出



#### ■歳出のグラフ用語

**義務的経費** 制度により支出額や内容が定まる、削減が難しい経費  
**投資的経費** 道路・公園・学校などの建設や、災害復旧などの経費  
**公債費** 借入金(市債)の元金と利息を返済する経費  
**扶助費** 生活保護・医療扶助等、法令により対象者を支援する経費

平成23年度は、地域の真の自立と新たな価値創造を実現できる地域経済・社会の構築に向けて、合併後の新しいまちづくりとして、これまで本市が重点的に取り組んできた「協働のまちづくり」と「広域県央中核都市の創造」を軸に、諸施策を展開していきます。

「協働のまちづくり」

～絆、つながり、

「コミュニティの再生」

「協働」の推進  
地域交流センターを中心とした

移動市長室における地域からの要望や、将来の「地域自治区」の導入に向けての課題等を整理する中で、「地域づくり交付金」のさらなる充実を図るとともに、柔軟な運用を図っていきます。あわせて、老朽化した地域交流センターを、3地域で整備していきます。

「新しい公共空間」の構築

少子高齢化の進展等により、これまでの行政サービスの枠を超えて、「公共」の範囲は拡大する傾向にあります。これまで個々で行っていた「マイカーによる移動」「買い物」「雪下ろし」など日常生活の領域にも、共助公助が必要になってきており、行政だけでなく、市民や地域、市民活動



団体、民間企業など、多様な担い手の育成とネットワークづくりを進めていきます。

「暮らしの安心・安全」

市民満足度の向上、市民生活の質的向上に向けて、各分野において、国の施策と連携して、個々の住民ニーズにきめ細かく対応していくとともに

に、合併して広域化した市域においても、すべての地域で、地域「コミュニティ」を基盤に誰もが安心して暮らせる仕組みを構築していきます。

「広域県央中核都市の創造」

～都市活力、経済循環の創造～

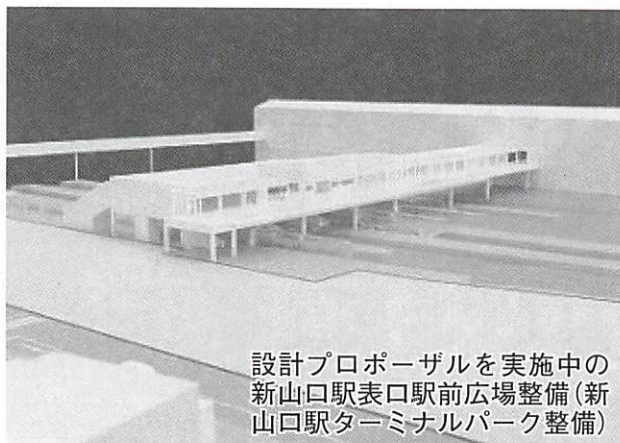
山口県中部エリアは、地理的に福岡、広島の中核都市圏の中間に位置し、社会経済環境の変化とともに富や若者の流出が加速しています。

その中で、本市は、新たな経済的価値を生み出し、雇用を創出できる一定の経済規模を持ち、求心力を持った圏域となる人口60万から70万人規



模の「広域経済・交流圏」の形成を促進するとともに、その圏域の中で中心的な役割を果たす「広域県央中核都市」を創造していきます。

地域経済・社会を支える  
基盤づくり



設計プロポーザルを実施中の新山口駅表口駅前広場整備(新山口駅ターミナルパーク整備)

広域経済・交流圏の形成を促すとともに、圏域の経済活動を牽引する「成長エンジン」としての「都市核の機能強化」について、スピード感を持って取り組んでいきます。

「小郡都市核」

小郡都市核においては、広域交通結節点として、今後の成長分野を見据えた高次都市機能の集積や、業務、

## ◇平成 23 年度の主な事業◇

今年度の主な事業等を市総合計画の8つの政策に沿って紹介します。

### ① 支えあい健やかな暮らしのできるまち

#### ■乳幼児医療費助成事業（4億4,327万円）

就学前の子どもの医療費の自己負担分を引き続き助成します。本市独自の制度として、平成23年10月診療分から5歳未満の子どもへの助成については父母の所得制限を撤廃し、子育て世帯の家計を支援していきます。

### ② いきいきと子どもが育ち、人がよりよく生きる、文化をはぐくむまち

#### ■地域ぐるみ子育て支援推進事業（1,179万円）

人材バンク「やまぐち路傍塾」を開設し、地域の枠を超えた広範囲な人材活用を行い、知識や技能などの専門性を有する地域の人材と子ども達を結びつけることにより、子どもたちの可能性を広げていきます。

### ③ 安心・安全な暮らしのできるまち

#### ■明るいまちづくり推進事業（2,095万円）

LED防犯灯の設置については、通学路・一般路の区分をなくし、補助率2/3にするとともに補助上限額を3万6,000円へ引き上げます。電気料補助についても、通学路・一般路の区分をなくし、一灯あたり一律1,000円とします。

### ④ 自然環境と調和した暮らしのできるまち

#### ■ごみ減量化・資源化啓発事業（881万円）

ごみの減量化・資源化に向けて、情報提供や啓発活動を行っています。平成23年度はプラ容器収集のモデル事業を実施します。

### ⑤ 機能的な都市基盤が整い、発展していくまち

#### ■新山口駅ターミナルパーク整備事業（18億8,905万円）

表口駅前広場の設計、南北自由通路の整備等に着手します。

### ⑥ 市民生活を支え、地域の活力を生む産業のまち

#### ■湯田温泉拠点施設整備事業（3億5,000万円）

旧山口銀行湯田支店跡地に、文化や自然にふれながらさまざまな空間体験ができる足湯館を整備します。

#### ■住宅リフォーム資金助成事業費（5,000万円）

市内の業者が施工する10万円以上の住宅リフォーム工事を行った市民に対して、商工団体が発行する共通商品券を交付します。（限度額10万円分）

### ⑦ ともに力をあわせてつくるまち

#### ■地域の個性を活かす交付金事業（3億4,400万円）

地域におけるさまざまなニーズや生活課題に対応するため、市内21の地域が行う自主的かつ持続的な活動に対して交付金を交付します。（地域づくり計画に基づく取り組み、法定外公共物の整備や小規模な農業用施設の改修）また、自治会等が地域社会の維持・発展のために行う自主的かつ持続的な活動を支援します。

#### ■地域交流センター建設事業費（11億8,271万円）

老朽化した地域交流センター（嘉川、宮野、阿東）の整備を実施します。

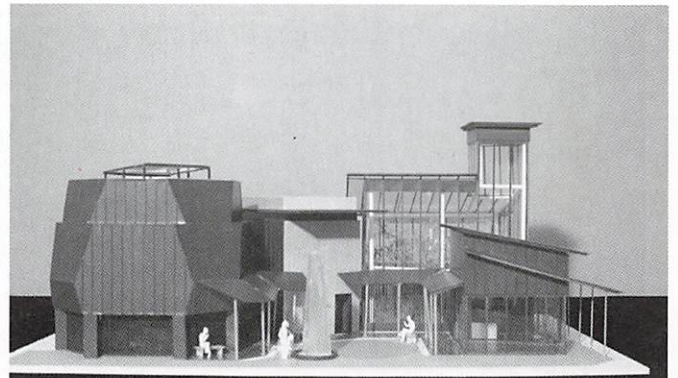
### ⑧ 市民の信頼に応える行政経営

#### ■市総合計画まちづくり計画策定事業（109万円）

「まちづくり計画」について、計画期間の中間年度にあたる平成25年度に向けて見直しを行います。

詳細は、市ホームページでご覧いただけます。

[山口市財政](#) で検索



平成24年春にオープン予定の足湯館の模型（湯田温泉）

#### 【山口都市核】

山口都市核においては、まちの「顔」である中心市街地の活性化や、おもてなしの空間としての湯田温泉地区の整備に向けて、官民が連携して取り組んでいきます。

金融・保険、流通等の企業間同士の取り引きの活性化等を図っていく中で、先導的なプロジェクトである新山口駅ターミナルパーク整備を、平成28年度の完成を目指して進めていきます。

今年度は、表口駅前広場の設計、南北自由通路の整備等に着手していきます。

#### 「おいでませ！山口国体」 「おいでませ！山口大会」 に向けた取り組み

山口市では、開閉会式をはじめ、水泳など正式競技16競技の会場となつていきます。県をはじめ関係機関、各種団体や市民との連携のもと、大会本番までに滞りなく準備を進め、



あることから、全国から訪れる多くの選手や監督をはじめ大会関係者の皆様を温かくお迎えすることができるよう、大会期間中おもてなし事業等に取り組んでいきます。

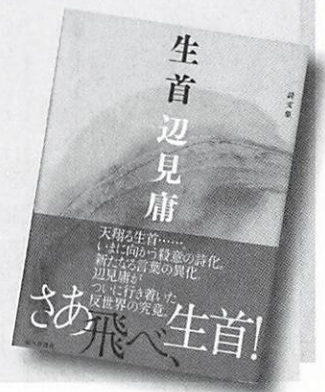


両大会では競技会の円滑な運営を図っていただきます。観光や文化など本市の魅力などを全国に発信する絶好の機会であることから、全国から訪れる多くの選手や監督をはじめ大会関係者の皆様を温かくお迎えすることができ

# 第16回中原中也賞が決定

## へんみ よう 辺見庸「生首」

山口市出身の詩人 中原中也の業績を顕彰するために創設され、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集に対して贈られる中原中也賞。2月12日に行われた選考会では、全国から応募・推薦のあった202作品の中から、作家辺見庸氏の第一詩集『生首』の受賞が決定しました。



私のなかの青い夜の川に、鉞でズッパリ胴から断たれた一頭の黒い驛馬の首が浮き、幽かにまだのこる息の根から馬草くさい夜気がひろがって、いま臍腑でひたすら開けていく紺の闇だ。ずいぶんおくれで、首なし馬がわが首を追って、私のなかの霧深い青い夜を、どこまでも横倒しに流れてくるのを、ゆめ忘れるな。解体と合体の徒夢は私のなかの青い夜の川を流れくんだり、血の海の底をへてもなお、ひとつに統べることのできない黒い驛馬の切断面によって象徴され、ごく薄く記憶されるだろう。黒い驛馬の脚が一本、流木に逆さまにはさまって、蹄を水面に突きだしている。もう疾駆しない蹄のまわりで、ただ開けていく紺の闇。私のなかの青い夜の川を馬の首と胴とが、脚を置きざりにして、ゆっくりと流れていく。もっと深い夜の川はたぶん、断ち切られた馬の胴の空洞を流れている。『生首』所収「青い夜の川」

※紙面の都合により改行なしとしましたが、原文には改行があります。

### 【選考委員評】

最後に辺見の詩集が、選考委員の支持を集めたのは、わたしたちが生きている世界のいまとここに、全存在をかけていることばの強度が並はずれていることだった。彼の詩には現代社会の腐敗し、機能不全に陥っている内臓が、驚掴みされている臨場感がある。

【受賞を受けて】  
ことばにしがみつくと

辺見庸

もう三十年以上まえに、ある寂しい詩人が言いました。「いまは、人間の声がどこへもとどかない時代です。自分の声はどこへもとどかないのに、ひとの声ばかりきこえる時代です。日本がもっとも暗黒な時代にあつてさえ、ひとすじの声は、敵として一人にとどいたと私は思っています。いまはどうか。とどくまえに、はやくも拡散してしまいます。わたしはこの絶望の意味をずっとかんがえつづけています。二〇一一年のいま、じぶんの声は発したとたんに揮発し、他人のむなしことばだけが四方八方からきこえてきます。ことばはたぶん、中也の時代よりももっと危機にひんしているにちがいない」



辺見庸氏 (66才)  
埼玉県川越市在住  
作家  
1991年「自動起床装置」  
で第105回芥川賞受賞

ありません。ことばが危ついていることとは、人間も危つくなっているということではないでしょうか。わたしは危つくなつたひとにそれでもしがみついたために、危つくなつたことばにそれがあつたならば、中也も懸命になつてさうしたであろうことを確信します。つたない詩を読んでくださつたひとびとに感謝します。

## 第16回中原中也賞贈呈式・記念講演

- ◇期日 4月29日(金・祝)
- ◇場所 ホテル松政(湯田温泉三丁目5-8)
- ◇贈呈式 16時30分~17時  
※受賞者の辺見氏は、東北地方太平洋沖地震に係る事情のため、贈呈式を欠席されます。
- ◇記念講演 17時~18時  
穂村弘氏(歌人)  
「共感と驚異 —なぜ詩歌は読まれないのか」



穂村弘氏

## 中原中也生誕祭「空の下の朗読会」

- ◇日時 4月29日(金・祝) 13時~15時
- ◇場所 中原中也記念館前庭(湯田温泉一丁目11-21)



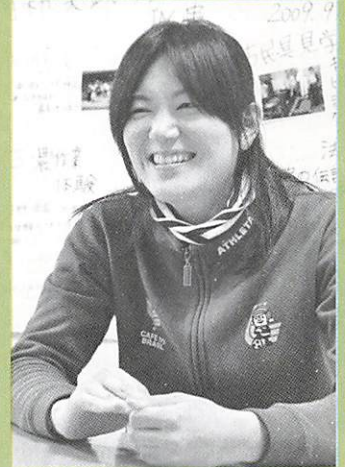
昨年の様子

- ◇出演 高橋竹山氏(津軽三味線奏者)
- ◇料金 無料(当日は記念館への入館も無料)
- ※朗読を希望される方は、12時30分から受け付け

■問い合わせ 贈呈式・記念講演…市文化政策課(☎083-934-2718) / 生誕祭…中原中也記念館(☎083-932-6430)

# キシタの串ぐらし

最終回：串の元気や笑顔のために



NPOの地域活性化事業「緑のふるさと協力隊」の隊員として、昨年4月に奈良県から徳地串地区にやってきた喜下美穂さん。「串ぐらし」の様子を、これまでコラム形式で届けてくれた喜下さんの任期も、3月で終わりを迎えました。今回は喜下さんに、串の魅力や今後の活動についてお聞きしました。

■問い合わせ 市広報広聴課  
(☎ 083-934-2753)

都会にはない串の魅力  
～人とのつながり・あたたかさ～

串でのイベントや行事のお手伝い、また日々の暮らしを通じて一番感じたのは「串は本当に居心地の良いところだなあ」ということでした。

串は本当に空気がきれいで、新鮮でおいしいお米や野菜がすぐそばにあります。また、農山村地域のことをなんにも知らない私をすぐに受け入れて、もてなしてくれたように、都会では失われかけている人のあたたかさが残っているんです。

確かに買い物には少し不便で、高齢化・人口減少が進んでいます。だからこそみんな顔見知り、まとまりが大きい。それがイベントや行事での大きなパワーや、地域愛につながっていると思います。



串の都会にはない魅力を、全国各地での活動を終えた隊員が集まった報告会で、精一杯PRしてきました。

任期を終えて、今後のこと  
～4月以降も串ぐらし～

串の魅力を もっと見つけ増やして外部に伝えたい、串のみなさんとのつながりを大切にしたいと思い、4月から串での生活を続けることを決めました。



2月の串分館のお祭りで「4月からも串に残ることになりました」と報告したとき、会場のみなさんから本当に大きな拍手をいただきました。とても感動しましたし、串に残ると決めてよかったと、心から思いました。

取り組みたいこと  
～特産品開発・技術の伝承～

串は、受け継がれてきた技術や豊かな自然に恵まれています。これといった特産品がないのが弱みです。そこで、地域資源を生かした特産品を開発しようと、地区内に豊富なユズなどを乾燥してお茶にする動きがあり、私

もお手伝いしています。串の活性化、またみなさんの生きがい作りのためにも、ぜひ成功させたいです。



また、串老人作業所「ゆめ工房」で受け継がれているわら細工の技術など、ここで大切に守られているものを身につけて伝えたいと思います。

これからも、私が串で暮らし、活動していくことが少しでも串のみんなの元気や笑顔につながれば、これ以上うれしいことはないですね。

串での生活を支え、応援してください。これからも、どうぞよろしくお願ひします！

## 串老人作業所「ゆめ工房」の方に聞きました

喜下さんは好奇心旺盛で何でも一生懸命チャレンジするので、農山村ならではのあらゆる体験をしてもらいました。縄をなう技術など、若いのに本当に上手いですよ。

4月以降も串に残ると聞いて、みんなも喜んでいました。若い人がいると、雰囲気明るくなり、元気をもらえますし。



事務局 平川治義さん

4月からは、これまで身に付けた技術をもっと磨き、農林業にもより深くかかわってほしいと思っています。串での経験が、彼女の人生の財産になるよう支えていきたいですね。

## ～1年間の受け入れを終えて～「自分で考え、動き、しっかりと地域とかがわって欲しいと思います」



地域振興部 中山間地域活性化推進室 副主幹 石川映子

串地区では、これまで都市農村交流が盛んでしたが、今回の長期受け入れにより、地域資源（自然や伝統文化、農産物や加工品）を外部の視点を通じて、見つめ直すきっかけになったのではと思います。新たに特産品の開発が始まるなど、地域の魅力向上に向けた取り組みが進むなかで、地域活動がさらにステップアップしていくことが期待されます。

喜下さんの隊員としての任期は、3月でいったん終了します。これからは、行政の主導で活動

してきた隊員時代と違って、串の住民、また地域づくりの担い手として、自分で考え、動き、よりしっかりと地域にかかわってほしいと思います。

また、1年間の経験を生かし、4月から徳地串地区、阿東嘉年地区に赴任する隊員と地域との懸け橋としての役割や、同じく県内で受け入れをしている下関市、岩国市の隊員との広域ネットワークの調整役なども担い、より幅広い視点から地域活動に取り組んで欲しいです。

# 市政トピックス

## 合併記念事業を行いました

平成17年10月1日の新市発足から5周年、平成22年1月16日の旧阿東町との合併1周年を記念した行事を行いました。

### 【市内6カ所で記念植樹】



2月22日、新市としてさらに一体感を醸成し、各地域の継続的な発展を願って、香山公園(山口)、小郡総合支所(小郡)、秋穂総合支所(秋穂)、阿知須総合支所(阿知須)、重源上人顕彰碑前(徳地)、道の駅長門峡(阿東)の市内6カ所で記念植樹を行いました。

植樹したのは市の花木であるサクラの一種「ヤマザクラ」です。

この日、香山公園では、市長と市議会議長、副議長と、平成17年10月に生まれた野田学園幼稚園児10人が、高さ約2.5メートルの苗木を植え、水やりをしました。市長は「園児のみならず、健やかに成長され大人に

なつてサクラのように美しい花を咲かせるように、本市も県央中核都市として県をリードし、発展できるよう力を尽くしたい」と述べました。

### 【新市「山口市」合併記念およびNHK山口放送局開局70周年記念事業「NHKのご自慢」】

2月27日、市民会館で、NHK山口放送局と本市の共催で「NHKのご自慢」を開催しました。

開催にあたり、市長は「会場にお集まりのみなさんが一体となって大いに盛り上がり、歌を通して本市の元気を全国に発信したい」と述べました。

会場を埋めつくした観客のみなさんが見守る中、予選を勝ち抜いた20組の出演者が自慢の歌声を披露しました。チャンピオンには山口市在住の齊藤輝さんが選ばれ、市民のみなさんの活力を全国に発信することができました。

### 【市総務課】

(☎0833・9334・26000)

## 「やまぐち新進アーティスト大賞」「やまぐちACS賞」を贈呈



2月16日、旺盛な創作意欲を持ち、将来一層の活躍が期待されるアーティストに贈る「やまぐち新進アーティスト大賞」と、市民が選ぶ「やまぐちACS賞」に、それぞれ金属作家の松村

憲治さん(右から3人目)、彫金作家の佐伯和章さん(右から4人目)が選ばれ、賞の贈呈を行いました。

お二人は、支えてくれた周囲の方々への感謝の気持ちを語るとともに、今後の目標として、松村さんは国内外に向けたアートの発信、佐伯さんはアートの分野での地域貢献を掲げられました。

市では、今後もこれらの賞を通じ、地元のアーティストの育成とアーティストを地域や住民が支え、応援する仕組みづくりを行っていきます。

### 【市文化政策課】

(☎0833・9334・2717)

## 萩山口信用金庫から寄付をいただきました

2月16日、萩山口信用金庫から寄付金260万22円をいただきました。

これは、同信用金庫が、地域貢献活動の一環として、預金残高の0.02%を預け入れた人の住居地の自治体に寄付する「地域応援定期預金」を展開され、そのうちの山口市分について寄付いただいたものです。

市長は「事業活動を通じて地域に貢

献いただき感謝しています。預金された市民のみなさんの、地域を愛する思いをしっかりと受け止めて、有効に活用したい」と謝辞を述べました。

今回いただいた寄付金は、各地域を巡回する健診用車両の購入費等に充て、市民生活の充実に役立ててまいります。

### 【市財政課】

(☎0833・9334・2750)



# 東北地方太平洋沖地震に関するお知らせ

3月11日に東日本地域で発生した「東北地方太平洋沖地震」で被災された皆様を支援するため、義援金や救援物資の受け付けなどを行っています。市民の皆様のご協力をお願いいたします。

## 義援金の受け付けについて

いただいた義援金は日本赤十字社を通じて、被災地へ送られます。

### 【現金でお申し込みの方へ】

#### ■受付場所（募金箱設置場所）

市社会課、総合受付（山口総合支所1階）、山口市役所別館（教育委員会）、各総合支所総合サービス課、各地域交流センターおよび分館 ほか

※領収証が必要な場合は、窓口でお申し出ください。

### 【口座でお申し込みの方へ】

#### ■義援金窓口 郵便局・ゆうちょ銀行

・口座記号番号 00140-8-507

・口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

#### ■取扱期間 9月30日（金）まで

※通信欄に名前、住所、電話番号を記載してください。

※郵便局窓口での取り扱いの場合、振替手数料は免除されます。

※郵便局窓口で受け取られた振込用紙の半券が受領証になりますので、大切に保管してください。

◆震災に便乗した義援金詐欺や悪徳商法にご注意ください。

■問い合わせ 市社会課（☎083-934-2790）

## 災害ボランティアの相談受け付けについて

災害ボランティアに関する相談を、山口市社会福祉協議会で受け付けています。

### ■問い合わせ 山口市社会福祉協議会

（☎083-934-3538）

## 被災者支援の相談受け付けについて

本市へ避難された被災者のみなさんからの、市営住宅の入居などの生活支援を始めとした、転入、就学等に関する相談を受け付けています。

■問い合わせ 市総務課（☎083-934-2908）

## 救援物資の受け付けについて

被災地の受入状況等を考慮し、4月8日（金）まで、受け付けを行っています。物資をお持ちいただく際は、事前に収納用の段ボール箱等で品目ごとに包装し、品名を明記してください。

### ■受付品目

種類	受付物資	注意事項
食料	カップ麺	消費期限が短いものを除く
	インスタント麺	
	レトルト食品	
	米	
	粉ミルク	
飲料	水	500ミリリットル、1リットル、2リットルのみ
衛生用品	紙おむつ（乳児用）	
	紙おむつ（大人用）	
	尿失禁用パット	
	マスク	
	トイレトペーパー	パッケージ単位
	ボックスティッシュ	パッケージ（5箱）単位
生活用品	ウェットティッシュ	
	衣料	新品または未使用のもの、クリーニング済みのもの
	毛布	新品または未使用のもの
	タオル類	新品または未使用のもの
	使い捨てカイロ	
	乾電池	単1～単4

■受付場所 市社会課（山口総合支所1階）、各総合支所総合サービス課、各地域交流センターおよび分館

■受付期間 4月8日（金）まで（ただし窓口受付時間中のみ受け付け）

■問い合わせ 市社会課（☎083-934-2790）

現地の状況等により、内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は市ホームページ（表紙参照）でご確認いただけます。

## 被災地での救援活動

### 【給水活動（3月22日時点）】

3月13日、被災地の皆様に生活用水を提供するため、給水車1台と物資、職員を被災地に派遣しました。これまで、宮城県仙台市で給水活動を行っています。

■派遣内容 人員…4人（2人1班×2）／資機材…給水車（容量2トン）1台、資材運搬車1台、給水袋（2,600袋）、マスク（2,000個）

■問い合わせ 市上下水道局政策管理室

（☎083-933-6663）

### 【緊急消防援助隊の派遣（3月22日時点）】

3月14日、国および山口県からの指示により、被災者の救助・救援活動を行うため、緊急消防援助隊を被災地に派遣しました。

3月16日～19日の間、宮城県石巻市において、山口県緊急消防援助隊として、がれきの撤去や安否状況の確認などの任務にあたり、22日に帰任しました。

■派遣内容 消火隊1、救助隊1計2隊（消防車両4台、隊員12人）

■問い合わせ 市消防本部警防課（☎083-932-2602）

# ちよるる通信

このたび、国内最大規模の巨大地震に見舞われ、お亡くなりになられた皆様へ心よりお悔やみを申し上げますとともに、甚大な被害を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。みなさんが元気になってもらうためにも両大会を盛り上げていきます。



■問い合わせ 市国体推進局総務企画課 (市実行委員会事務局 ☎ 083-984-8121)

http://www.choruru.net/ ☐ kokutai@city.yamaguchi.lg.jp

☐記事に関するご意見・ご要望をぜひお寄せください。

今月は炬火イベントの取り組みと水泳競技について紹介します。

### 各地域の力を集めて炬火をつなぎましょう!

#### ①「地域の炬火」を生み出します



マイギリで火を熾す様子

マイギリなど、各地域で思い思いの方法により火を熾します。

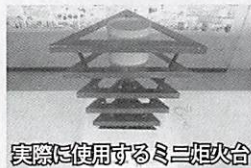
↓  
火を国体用に準備されたトーチに移します。

↓  
渡邊さんが作った炬火の受け皿(下記参照)に火を移して完了です。



火をトーチに移します

#### ②「山口市の炬火」を生み出します



実際に使用するミニ炬火台



千葉国体(綾原市)の様子

8月6日(土)に大殿地域の炬火が到着後「山口七たちょうちんまつり」新亀山公園ステージで21地域の炬火を集め、山口市の炬火を作ります。(山口市の炬火は五重塔をイメージしたミニ炬火台に点火します)

#### ③各市町の炬火が集められます

「おいでませ!山口国体」総合開会式で各市町の炬火を集め、炬火台に灯されます。

ちよるるが右手に持っている「火」で、オリンピックの聖火に当たるものです。  
48年前の山口国体(第18回国民体育大会)では、旧錦町の寂地山で採火(火を熾す作業)された後、県内で市町村間リレーを実施しました。今回は、県内各市町が炬火を作り、10月1日の「おいでませ!山口国体」総合開会式でそれぞれの炬火を集め、維新百年記念公園陸上競技場の炬火台に灯されます。この炬火は、両大会の会期中、選手の活躍を見守るシンボルとなります。

市実行委員会では、市民の皆様が両大会に興味を持っていただきたいという思いから、市民総参加運動を推進していただいている市内21地域で炬火を作る「炬火イベント」を実施します。  
地域の運動会等の行事にあわせ、4月17日(日)の嘉川地域から各地域の炬火が作られ、8月6日(土)山口七たちょうちんまつりの日、大殿地域の「つながる大殿七たちょうちんの灯」が灯された後、市内21地域の炬火を集め、山口市の炬火を作ります。日程等は各地域交流センターにご確認ください。



「炬火」って何でしょう?!



炬火イベントに参加しよう!

両大会のシンボル  
炬火イベントで盛り上がる!!

これが炬火です



### こうご期待!



裏返しの状態です

市の花である「菜の花」をイメージした力作です

### 素敵な炬火イベントを演出します!



渡邊陽子さん  
市内で活動中の若手陶芸家。昨年の第2回やまぐち新進アーティスト大賞・ACS賞を同時受賞

市内21地域の炬火の受け皿を陶芸家の渡邊陽子さんが心を込めて制作中です。渡邊さんは「思いを込めて作った受け皿がお披露目されることを楽しみに、炬火イベント自体が楽しめる作品にします」と意気込まれています。

### 21地域の想いをことばに... 山口市の炬火名を募集します

■募集期間 4月1日(金)~5月31日(火)

※当日消印有効

■応募資格 市内在住の方

■炬火名の条件 「~の火」で終わる20文字以内で山口市らしさを取り入れたもの

■応募方法 各地域交流センターに備え付けの応募用紙またはハガキに〒住所、氏名、電話番号、炬火名、山口市らしさの理由を記入し、市実行委員会

■表彰 最優秀賞(1名)・山口商工会議所商品券3万円および記念品/優秀賞(3名)・同商品券1万円および記念品 ※発表は入賞者に直接通知

## 水泳…競泳・水球・シンクロナイズドスイミングの3競技 ※飛込は広島市で実施

### ●競泳 9月9日(金)～11日(日)

自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレーとリレー、メドレーリレーの7種目で競います。国体では800mや1,500mは行われません。スタートのフライング(水泳ではフォルススタートという)は1回で失格になります。



### ●水球 9月12日(月)～15日(木)

ゴールキーパーを含めた7人が1チームで、相手ゴールにボールを投げ込み得点を競います。1ピリオド8分間を4回行い、総得点で勝敗が決まります。ボールを持ったチームは原則30秒以内にシュートしなければ反則となります。



### 県内の高校で唯一の水球部 西京高校水球部におじゃましました!



見どころはシュート!

400g超  
(サッカーボール並)

約1.5m

ゴーグルは  
着けません

水深2.0m

これはスゴイ!  
立ち泳ぎからここまで飛び上がってシュートします。  
踏ん張りのきかない状態でも  
時速60km以上のスピードです。

「水球」は、その過酷さへの敬意からヨーロッパでは「キングオブスポーツ」と呼ばれています。試合中、選手はプールの底に足をつけることなく競技をします。相手との接触プレーもあり、全員攻撃・全員守備の見ごたえ十分な激しい攻防が繰り広げられます。

西京高校水球部は、山口国体水球競技に出場予定です。選手はそのことを自覚し、神田久輝監督の厳しい指導のもと、国体に向けた強化を進めています。

### ●シンクロナイズドスイミング 9月7日(水)

国体では少年女子のデュエット(2人)を行います。あらかじめ決められた技を演技に取り入れて行う「テクニカルルーティン」と競技者の得意な技などを自由に表現する「フリールーティン」を行い、両競技の総合得点で順位が決定します。



### キャプテンのチーム分析

#### プレイスタイル

最もスタミナを必要とする「泳ぎ」で勝負

#### 特筆すべき点

中学時代から山口水球クラブで練習してきた仲間が多くチームワーク抜群。試合中の意思疎通は「アイコンタクト」

#### チーム力

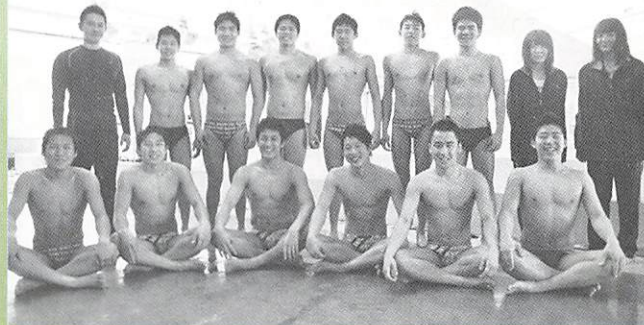
1月に千葉国体3位の鳥取県チームに惜敗。上位を狙える手応えアリ



ふじつ わたる  
藤津 航さん

中学2年で競泳から転向。チームワークを第一に大きな声で部員を鼓舞する体育会系男子

ご協力いただいた神田監督・12人の選手・マネージャー



## 売店出店者を募集します



山岳競技のリハーサル大会となる「リード・ジャパンカップ」の会場で国体関連グッズやスポーツ用品、郷土土産品、飲食物などを販売する売店出店者を募集します。

■大会期間 6月4日(土)～5日(日)

■会場 セミナーパーククライミング場

■貸出物 テント1張、机4台、いす4脚

※出店料・出店資格等の詳細は、お問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ 4月22日(金)までに、備え付けの申請書に必要事項を記入し、山口商工会議所(〒753-0086 中市町1-10 ☎083-925-2300)

※申請書は、下記のホームページからも入手できます。

・山口商工会議所 ☐ <http://www.yamacci.or.jp/>

・市実行委員会 ☐ <http://choruru.net/>

## 競技会場に応援に行こう! ちよるる巨大シール登場



【左から】 【右から】  
高さ5.0m、幅2.6mの巨大シールが柱いっぱい選手を応援! ぜひ見に来てください。

両大会の開催機運のさらなる高揚を図るため、市中心商店街の山口井筒屋正面玄関横の円柱に巨大なシールを貼りました。このシールでは、「ちよるる」がのぼりを持って全国から来る選手を応援していることを表現しています。選手にとっては、応援されることが「最高のおもてなし」となりますので、市民の皆様も両大会の競技会場へ行って「ちよるる」と一緒に選手に声援を送りましょう。

## 市廃棄物減量等 推進審議会委員の募集

市では、廃棄物の減量・リサイクルの推進・資源の有効利用(3R)による循環型社会の形成を目指し「一般廃棄物処理基本計画(中間見直し)」を策定します。この策定に当たり、ご意見ご提言をいただく委員を募集します。

■任期 平成23年7月から1年程度

■対象 応募時点で本市の審議会等の委員でない市内在住の方(国および地方公共団体の議員、常勤の公務員を除く)で、平日の日中の会議出席可能な方

■定員 若干名(選考委員会で選考)

■申込 4月28日(木・必着)までに「3R政策に関して提言したいこと」がテーマの作文(1200字以内)を添えて、郵送、FAX、Eメールのいずれかで、〒住所、氏名、年齢、職業、自宅および昼間の連絡先を明記の上、市資源循環推進課(〒753・0214大内御堀496) 0833・941・2173 FAX 0833・927・8641  
shigen@city.yamaguchi.lg.jp)

## 家庭用井戸等 設置補助制度

4月1日から、市では水道の未普及地域に居住している方の安定した飲用水確保のため、井戸等の設置に要する費用の一部を補助します。

詳細は、市ホームページ(表紙参照)で、ご確認ください。

■補助対象地域

- ・上水道および簡易水道の計画給水区域外の地域
- ・計画給水区域内の未整備区域で、緊急に飲用水を確保する必要があると市長が認める地域

■補助対象者(すべてに該当すること)

- ・過去に同様の補助を受けていない
- ・市税を滞納していない
- ・他人の土地に施設を設置する場合、土地の所有者の承諾がある

■補助対象経費 ポーリング・取水管・ポンプ設置・給水管・電気導線・貯水タンク設置工事

■補助金額 補助対象経費の3分の1(上限30万円)

※千円未満切り捨て。補助対象経費が10万円未満の場合は補助対象外

● 山口総合支所	〒753・8650	亀山町2-1	0833・922・4111
● 小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609-1	0833・973・2411
● 秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	0833・984・2121
● 阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	0836・65・4111
● 徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	0835・52・1112
● 阿東総合支所	〒759・1512	阿東徳佐中3417-2	0833・956・0111

### 【業者向けの説明会(申込不要)】

■日時 4月7日(木) 14時から

■場所 市清掃工場(大内御堀496)

■申込 設置工事の前に必要書類を添付の上、市環境衛生課(〒753・0214大内御堀496市清掃工場内) 0833・941・2176  
kankyoe@city.yamaguchi.lg.jp)

## ため池等の農業用施設 賠償責任保険

山口県土地改良事業団体連合会と保険会社が契約する団体加入保険制度による、ため池等の農業用施設の管理上の不備などが原因の損害を補償する保険です。加入については各土地改良区または市がとりまとめを行っています。

また、施設管理者の管理中の怪我等を補償する保険も合わせてとりまとめを行っていますので、保険の内容等の詳細は、お問い合わせください。

※申込用紙は、各総合支所および地域交流センターで入手可

■市農業整備課(0833・934・2006) 山口県土地改良事業

## 新分野進出補助金

団体連合会(0833・9333・0033)

転業や複業化により現在営む業種から新しい業種に進出する費用の一部を補助します。交付に当たっては、書面およびプレゼンによる審査会があります。詳しくは、お問い合わせください。

■対象事業者 市内に1年以上主たる事務所を有する中小企業者のうち、条件を満たす者

■補助対象事業 日本産業分類の分類において、異なる業種に進出する事業のうち、条件を満たす事業

■補助額 進出する業種により、補助率3分の2限度額100万円/補助率2分の1限度額50万円

■募集期間 6月30日(木)まで

※事業計画・収支計画の作成などに要件があります。詳しくは、市ホームページ(表紙参照)まで

■市商工振興課(山口総合支所) 0833・934・2881 FAX 0833・934・2990)

5月11日(水)～20日(金) 春の全国交通安全運動「住みよい山口 いつも心に交通安全」

【重点目標】子どもと高齢者の交通事故防止／すべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底／自転車の安全利用の推進／飲酒運転の撲滅／スピードダウンの推進 ■問い合わせ 市生活安全課 (☎ 083-934-2765)

平成23年度  
組織改編のお知らせ

「協働のまちづくり」と「広域県央中核都市の創造」を軸とする諸施策への取り組みを拡充するため、4月1日付けで組織を改編しました。

■協働のまちづくり推進体制を強化します  
都市整備部に「地域づくり技術支援室」を新設しました。法定外公共物整備事業など、「地域づくり交付金」を活用して、地域が主体となって取り組むまちづくりを、側面から技術的に支援します。

■新産業の創出に取り組みます  
経済産業部の「企業立地推進室」を「産業立地推進室」に名称変更し、企業誘致に加えて、本市独自の新産業機能の集積化に取り組みます。

■消防体制の強化に取り組みます  
中央消防署徳地出張所を新設し、中央消防署東出張所を大内出張所に名称変更しました。(詳しくは市報3月1日号)

問い合わせ 市行革推進課  
(☎ 083-934-2909)

新設  
住宅関連助成事業の

市では、市民を対象とする次の住宅関連助成事業を新たに創設しました。

【山口市内産材利用促進事業】

市内産木材を一定量以上使用し建築する住宅に対し、木材使用量1㎡当たり4万円(上限50万円)を助成します。

■受付 4月25日(月) から

☎市林業振興課

(☎ 0833-934-2820)

【山口市住宅リフォーム資金助成事業】

工事費10万円以上(消費税除く)の住宅リフォーム工事に対し、工事費の10%(上限10万円)を市内共通商品券で助成します。

■受付 6月1日(水)から、山口商

工会議所、山口県央商工会、徳地商

工会の各窓口

※先着順。助成金額に達し次第終了

☎市商工振興課 (☎ 0833-934

・2719)、山口商工会議所 (☎

0833-9255-2300)、山

口県央商工会 (☎ 08336-65

・2129)、徳地商工会 (☎

0835-52-0026)

山口ふれあい館  
初心者陶芸教室

■日時 5月～平成24年2月の毎月第

1火、水曜(A班)もしくは木、金曜

(B班) 13時～16時 ※5月は第2週

■定員 各班20人

■受講料 3000円(教材費実費)

■所定日 4月20日(水・必着)までに、

往復ハガキに希望する班(ない場

合はその旨)を明記の上、山口ふ

れあい館(〒753-0001宮

野上1-2-22) ☎ 0833-9233-

3351)



4月1日(金)  
から

高齢者のみなさんの身近な相談・支援機関  
地域包括支援センターの体制が変わります

■問い合わせ 市基幹型地域包括支援センター (☎ 083-934-2758)

●変更点

・新たに3カ所の「地域型地域包括支援センター」を開設し、民間委託によるセンターが5カ所になります。(表1参照)

・山口総合支所内および徳地地域、阿東地域の直営センターは「基幹型地域包括支援センター」になります。(表2参照)

※山口総合支所内の基幹型地域包括支援センターは、市全体に関する業務や地域型地域包括支援センターが円滑に業務が実施できる体制づくり等を行います。

②および③の地域にお住まいの方は、これまでの山口総合支所から、より身近な場所で相談、支援を受けることができます。④の地域およびその他の地域にお住まいの方の相談窓口は、これまでと同じです。

●ご相談ください

高齢のみなさんが地域で安心して暮らすためのあらゆる相談等をお受けします。お住まいの地域の①～⑦のセンターにご相談ください。

【地域包括支援センターの主な役割】

- ・さまざまな問題について相談に応じます。
- ・自立して生活できるよう支援します。
- ・関係機関との連携を支援します。
- ・権利を守るための支援をします。

表1 地域型地域包括支援センター

お住まいの地域	担当のセンター	開設時間等
① 大殿・白石・湯田	市 中央地域包括支援センター 朝倉町 5-4 ☎ 083-934-3338	月～金曜
②【新】 仁保・小鯖・大内・宮野	市 北東地域包括支援センター 大内矢田 365-1 ☎ 083-941-6672	8:30～18:00 土曜 8:30～17:15
③【新】 吉敷・平川・大歳	市 鴻南地域包括支援センター 黒川 3363 ☎ 083-934-3333	(祝日・年末年始を除く) ※市鴻南地域包括支援センターのみ年末も開設
④【新】 嘉川・佐山・小郡・阿知須	市 川西地域包括支援センター 小郡下郷 609-5(市小郡保健福祉センター内) ☎ 083-976-5711	
⑤ 陶・鑄銭司・名田島・秋穂・秋穂二島	市 川東地域包括支援センター 鑄銭司 2361-3 ☎ 083-986-2077	

表2 基幹型地域包括支援センター

お住まいの地域	担当のセンター	開設時間等
市内全域	市 基幹型地域包括支援センター (山口総合支所内) ☎ 083-934-2758	月～金曜
⑥ 徳地 (地域型も兼ねる)	市 基幹型地域包括支援センター 徳地分室(徳地総合支所内) ☎ 0835-52-0670	8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
⑦ 阿東 (地域型も兼ねる)	市 基幹型地域包括支援センター 阿東分室(阿東保健センター内) ☎ 083-956-0995	



21の地域づくり

# まちかど レポート

最終回

2・3月のできごと

## 田園を駆け抜けろ！

みどりあふれる名田島の田園風景を舞台に、2011山口・名田島田園マラソン大会が開催されました。今年は昨年を123名上回る、583名もの参加者をお迎えすることができました。好天に恵まれて絶好のマラソン大会日和となり、好記録が続出しました。参加された選手のみなさんは気持ちの良い汗を流し、人情味あふれる名田島地区民とのふれあいを楽しんでいました。

(2月20日、名田島地域交流センター)

これまで、各地域交流センターからの地域行事などのレポートを通じ、地域づくりについてお伝えしてきた「まちかどレポート」は、今月号をもって終了します。撮影にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。



■問い合わせ

市広報広聴課  
(☎ 083-934-2753)

協働のまちづくり  
推進キャラクター  
キョードーレッド



## 先生は地域の「名人！」

2月11日、大歳地区社協および大歳地区老連主催による三世代交流事業の「昔の遊び・もちつき大会2011」が大歳地域交流センターで開催されました。当日心配された天気もなんとか持ちこたえ、老人クラブのメンバーが先生となり、子どもたちはけん玉やお手玉、あやとり、竹トンボなどで遊びました。子どもたちは、おじいちゃんたちの妙技にびっくり、目を輝かせみんな夢中になって昔の遊びを楽しみました。その後、みんなでもちつきを行い、あんこもちやきなこもち、ぜんざいをお腹いっぱい食べました。一緒に遊んでくれたおじいちゃん、おばあちゃん、ありがとうございました。

(2月11日、大歳地域交流センター)

## 地域の宝が元気に育ちますように

市食育ボランティア「やまぐち食育くらぶ」から講師を迎え、「子どもの元気を育む食育」講座を開催しました。栄養素や栄養バランスも大切ですが、何より大切なことは、子どもも大人も「食事を楽しむ」こと。親子一緒に紙芝居や絵本の読み聞かせに夢中になり、親を対象とした講演も、気分が軽くなるような軽快なトークで、あっという間に楽しい時間が過ぎました。

子どもたちも、仲良く元気ががんばったね！元気いっぱい、「食」を大切にする子に育て下さい。

(2月23日、白石地域交流センター)





## 憩いの場づくり！

鑄銭司地区青少年健全育成会主催の三世代交流事業が、長沢池周辺で行われました。前日から降り積もった雪が残る中、約100名の参加者が草刈りなどの清掃活動を行った後、「さくら」や「いちょう」の木の苗を植樹しました。参加されたみなさんは、植樹した木々が大きく成長し花を咲かせ、この場所が地域のみなさんの憩いの場となることを心待ちにされているようでした。  
(2月13日、鑄銭司地域交流センター)

## 勇気を持って！普通救命講習会

3月10日、小鯖地域交流センターで普通救命講習会が行われました。市中央消防署東出張所の隊員4名の指導の下、参加者38名が4グループに分かれ心肺蘇生法（人工呼吸と心臓マッサージ）とAEDの使い方を教わりました。終始和やかな雰囲気の中、隊員のポイントを押さえた分かりやすい説明で充実した3時間となりました。救急車が到着するまでの平均6分の間は何をすべきかを再確認し、いざという時に勇気を持って対処できる自信にもなったと思います。  
(3月10日、小鯖地域交流センター)



## さあ、みなさんごいっしょに

平成22年度の生涯学習フェスティバルが、2月27日に市大海総合センターで開催されました。毎年生涯学習活動の発表の場としてすっかり定着しており、今年は展示部門9団体、ステージ発表部門に17団体の出展・出演がありました。そのうち、ステージ部門ではすてきな衣装をまとった方々が、歌や踊り、謡いや舞など、日ごろの練習成果を存分に発揮されていました。観客の方々も、いつもよく見るあの人の違った一面をみるのができたのではないのでしょうか。  
(2月27日、秋穂地域交流センター)

## 仁保地区クリーン大作戦！！

今年で6回目を迎えた仁保地区空き缶ゼロの日。地区住民や事業所のみなさんが参加して、山口国体ライフルC P競技の会場になっている警察学校周辺をはじめ、道の駅周辺、国・県道沿いなど仁保全域に捨てられたごみを拾いました。「ごみのポイ捨てやめよう」のタスキをつけ、不法投棄防止の啓発にも努めました。  
(2月27日、仁保地域交流センター)



# イベントカレンダー



※東北地方太平洋沖地震の状況により予定が変更される場合があります。  
開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日) イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)

**愛、あったまる 山口お宝展**  
(~3日) (大殿、白石、湯田)  
実行委員会 (☎083-925-2300)

**企画展「中也が読んだ本」**  
(~17日) (湯田)  
中原中也記念館 (☎083-932-6430)

**真綱大度+石橋素「particles」**  
(~5月5日) (白石)  
山口情報芸術センター  
(☎083-901-2222)

**やまぐち物産市** (大殿)  
市観光課 (☎083-934-2810)

**第9回元気がでるっちゃフェスタ**  
(~3日) (仁保・小鯖・宮野・徳地・阿東)  
山口農林事務所 (☎083-922-5291)

**第24回桜まつり** (阿東)  
あとう観光協会 (☎083-956-2526)

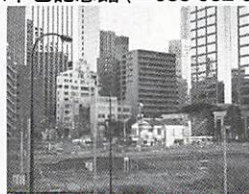


**4月2日(土)~3日(日)**  
「湯田温泉白狐まつり」は中止  
(市報3月15日号15ページ掲載)

**8 (金)** 菜香亭市民ギャラリー  
「山口っ子の絵と工作・えのぐる  
作品展」(~10日) (大殿)  
市菜香亭 (☎083-934-3312)

**10 (日)** 春の久留米市田主丸植木まつり  
& JA 全農やまぐち旬感フェスタ  
(~5月8日) (佐山)  
全農山口県本部 (☎083-973-3298)

**20 (水)** 企画展「宮嶋康彦-中原中也に  
決別 白と黒の振幅の果てに」  
(~8月28日) (湯田)  
中原中也記念館 (☎083-932-6430)



**22 (金)** あいおツデーマーチ  
(~23日) (秋穂)  
秋穂地域交流センター  
(☎083-984-2132)

**中原中也生誕祭**  
「空の下の朗読会」 (湯田)  
中原中也記念館 (☎083-932-6430)  
※当日、記念館への入場は無料



**第16回中原中也賞贈呈式**  
(湯田)  
市文化政策課 (☎083-932-6430)



近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

## 宇部市

### ときわ遊園地イベント情報 (日曜)

- 【4月10日…ぶちのリバポート】  
~1枚1,000円で遊機具が乗り放題!  
■時間 9時30分~16時30分
- 【4月17日…おもしろ科学実験】  
~山口大学を中心とした「科学版松下村塾」  
■時間 13時~15時
- 【4月17日…ビンゴ大会 (先着 300人)】  
■時間 14時から (13時30分から受付)
- 【4月24日…ガラポン抽選会】  
■時間 9時30分~16時30分
- 問い合わせ 常磐公園活性化推進室  
(☎0836-54-0551)

## 防府市

### エヒメアヤメ自生南限地帯 一般開放

- 日時 4月9日(土)~18日(月)  
9時~17時(入場は16時30分まで)
- 場所 防府市大字西浦  
エヒメアヤメ自生地内  
(マツダ防府工場南  
通称「小芽山」)
- ※自生地の下に駐車場があります。  
※すべりにくい靴でお越しください。
- 問い合わせ 防府市文化財課  
(☎0835-25-2237)



表紙写真から  
豊かな山口湾の自然の恵み  
「紅きらら」天日干し作業

表紙は、2月20日、県漁業協同組合山口支店(秋穂二島)で開催された山口湾特産のカイガラアマノリ「紅きらら」の天日干し作業見学会の様子です。カイガラアマノリは、国内でも山口県を含め3県でしか分布が確認されていない希少種です。通常の海苔と比べて甘味成分や旨味成分が高く、商品価値も高いことから、平成16年度に県水産研究センターが山口湾干潟の自生種の増殖試験に着手、平成20年度には地元漁業組合と県水産研究センターとで商品化に成功し、平成21年度に特産品「紅きらら」として商標登録されました。

カイガラアマノリは独特の生態から養殖が難しく、収穫時期は1~2月、摘採作業も大潮の日に干潟の潮が引く深夜午前0時から午前3時ごろ。摘採後も貝殻の破片や砂粒を取り除き天日干しする細かな作業が必要で、豊作の今年も収穫見込みは約20kgと収穫量も限られています。

この日、試食した市内飲食店の関係者は「価格面で割高感があるが、香りも歯ざわりもいい。地元の方が苦労され時間と手間をかけて生産された貴重な食材なので、ぜひ活用したい」と語られていました。

山口固有の貴重な財産である「紅きらら」の安定生産に向け、市も支援に取り組んでいきます。

■問い合わせ 市水産振興課  
(☎0836-0804-8020)

■商品の問い合わせ  
山口県漁業協同組合  
山口支店  
(☎083-984-2733)



商品のパッケージ

この広報紙は再生紙を使用しています。  
使い終わったら、「新聞紙」として  
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 4月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎083-934-2753 / 印刷 株式会社マル二